

平成24年3月12日
九州地方整備局
川辺川ダム砂防事務所
鹿児島国道事務所

大規模土砂災害に備え、防災ヘリコプター・ 衛星通信車による調査・通信訓練を行います

平成23年3月に発生した東日本大震災や9月に発生した紀伊半島での土砂災害を受け、国土交通省九州地方整備局では災害時の対応能力向上に向けた取り組みを進めています。また、平成23年5月の土砂災害防止法の一部改正に伴い、河道閉塞・火山噴火に起因する土石流などで大規模な土砂災害が発生した場合、国土交通省により緊急調査を実施することになっています。

そこで今回、九州地方整備局本局、川辺川ダム砂防事務所、鹿児島国道事務所で連携し、大規模な土砂災害に備え、防災ヘリコプターと衛星通信車を活用した、調査・通信訓練を実施します。

今回の調査では、球磨川周辺の山地部及び熊本県から鹿児島県にまたがる肥薩山系を対象として、ヘリコプターから地形の特徴や過去に大規模な土砂災害が発生した箇所などの状況確認を行うとともに、ヘリコプターが撮影したカメラ映像のリアルタイム伝送訓練等を行います。

また、土砂災害が発生した場合に関係機関が連携し迅速な初期対応ができるよう、平成9年に実際に大規模な土砂災害が発生した鹿児島県出水市も参加し実施するものです。

記

実施日：平成24年3月14日（水）（雨天等の場合は実施を見合わせる場合があります。）

離発着場所：一武防災ヘリポート（熊本県球磨郡錦町）

実施行程（予定）：第1フライト（球磨川周辺の山地部） 10：40～12：10（別紙ルート1）

第2フライト（肥薩山系） 12：50～14：20（別紙ルート2）

第3フライト（球磨川周辺の山地部） 15：00～16：30（別紙ルート1）

※ 第1・3フライトでは、川辺川ダム砂防事務所職員がヘリコプターを運用し、山手中継局（別紙地図①）にて上空からのレーザー計測訓練（緯度・経度・標高の測定）を行います。

※ 第2フライトでは、同様に針原地区（別紙地図②）にて上空からのレーザー計測訓練を行うのに加え、鹿児島県出水市役所において、鹿児島国道事務所が運用する衛星通信車を活用し、九州地方整備局と出水市役所を結び、ヘリコプターからのリアルタイム映像伝送・通信訓練を行います。

参加機関：国土交通省 九州地方整備局、川辺川ダム砂防事務所、鹿児島国道事務所
出水市

【問い合わせ先】

- | | | | |
|--------|------------------|---------------|--------------|
| ・国土交通省 | 川辺川ダム砂防事務所 工務第二課 | 杉町 英明（ヘリ調査関係） | 0966-23-3174 |
| | 鹿児島国道事務所 防災情報課 | 野口 和洋（情報通信関係） | 099-216-3111 |
| ・出水市 | 総務課 安全安心推進室 | 原田 公司 | 0996-63-2111 |

大規模土砂災害を想定したヘリコプターからの調査訓練 [第1・第3フライト]

1. 訓練の目的

豪雨や地震等で大規模土砂災害が発生した場合に、平成23年5月に改正された土砂災害防止法に基づき、「緊急調査」として、土砂がどこでどれくらい崩れているか、そのことにより周辺や下流域に被害が生じるエリアがどれくらいできるのかを、国が調査し明らかにすることとされているため、球磨川周辺の地形への習熟と、機器の操作能力向上の訓練を行う。

2. 場所・時刻 球磨川周辺の山地部(別紙ルート1)・(第1フライト) 12:50~14:20 / (第3フライト) 15:00~16:30

3. 訓練内容

九州地方整備局の防災ヘリコプター「はるかぜ」に川辺川ダム砂防事務所職員が搭乗し、上空から市房山や白髪岳など球磨川周辺の山岳部の地形状況(山のピーク、尾根など地形の特徴、道路や高圧線など人工物の配置との関係)を把握するとともに、国土交通省山手中継局をターゲットとして、ヘリコプター上からのレーザー計測により対象物の位置(緯度・経度・標高)を確認する訓練を行う。(実際の土砂災害の時には、この調査結果をもとに、下流の危険範囲を特定し、土砂災害緊急情報として関係自治体の長に通知するとともに一般にも通知。救助隊の誘導や住民の方々の避難行動を支援。)



ヘリコプター「はるかぜ」の球磨川周辺飛行ルート及び上空通過予定時刻

国土交通省山手中継局(地図①)
[レーザー計測訓練]

第1フライト 11:20

第3フライト 15:40

市房山

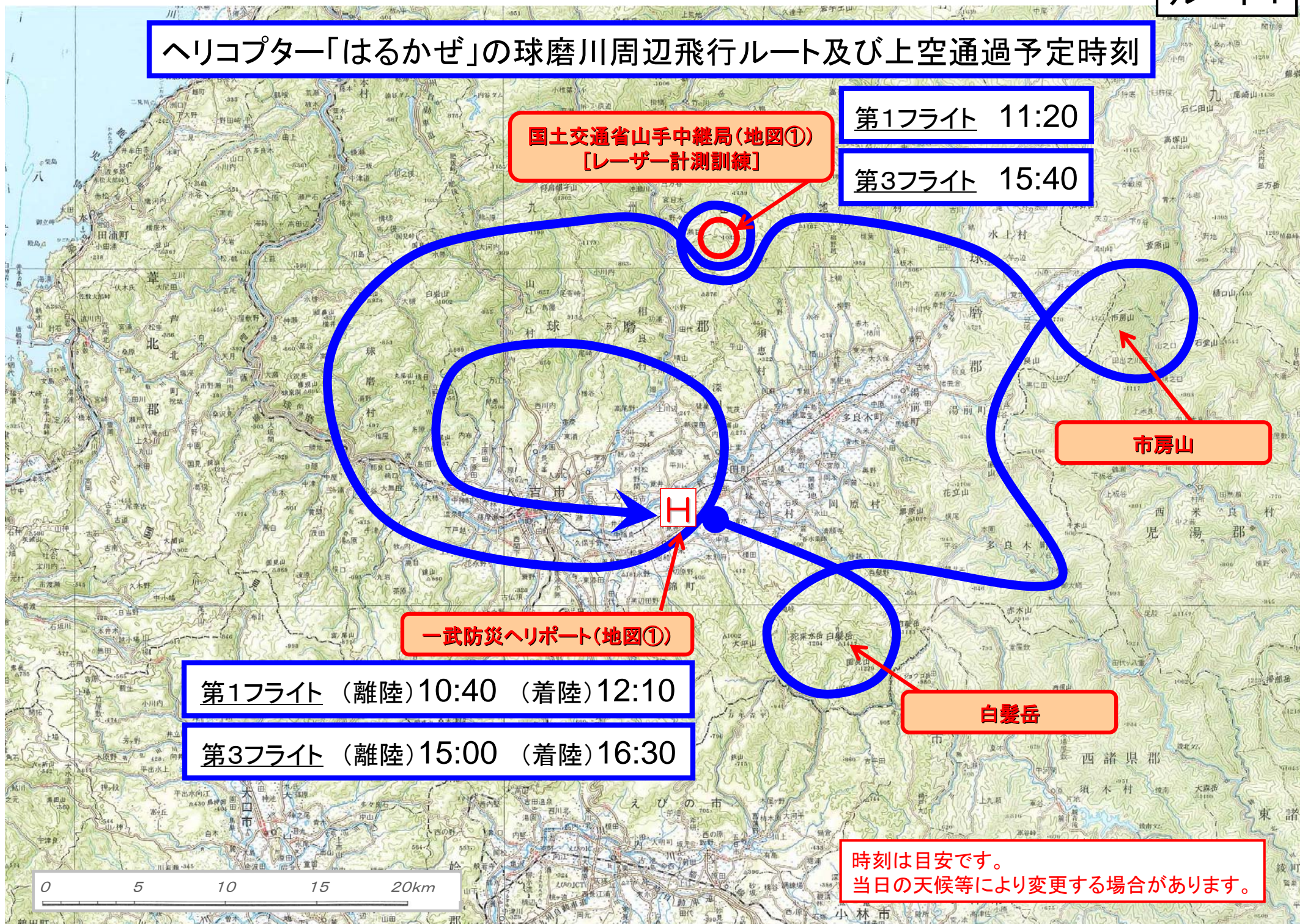
一武防災ヘリポート(地図①)

第1フライト (離陸) 10:40 (着陸) 12:10

第3フライト (離陸) 15:00 (着陸) 16:30

白髪岳

時刻は目安です。
当日の天候等により変更する場合があります。



大規模土砂災害を想定したヘリコプター・衛星通信車を用いた調査・通信訓練 [第2フライト]

1. 訓練の目的

豪雨や地震等で大規模土砂災害が発生した場合に、「緊急調査」として速やかに広域的な状況把握を行うことができる体制を確認するため、九州地方整備局本局・事務所間及び地元自治体との連携により、ヘリコプターを活用した被災箇所調査、観測機器を活用した被災規模の調査訓練、衛星通信車を用いたリアルタイムでの画像伝送・通信訓練を行う。

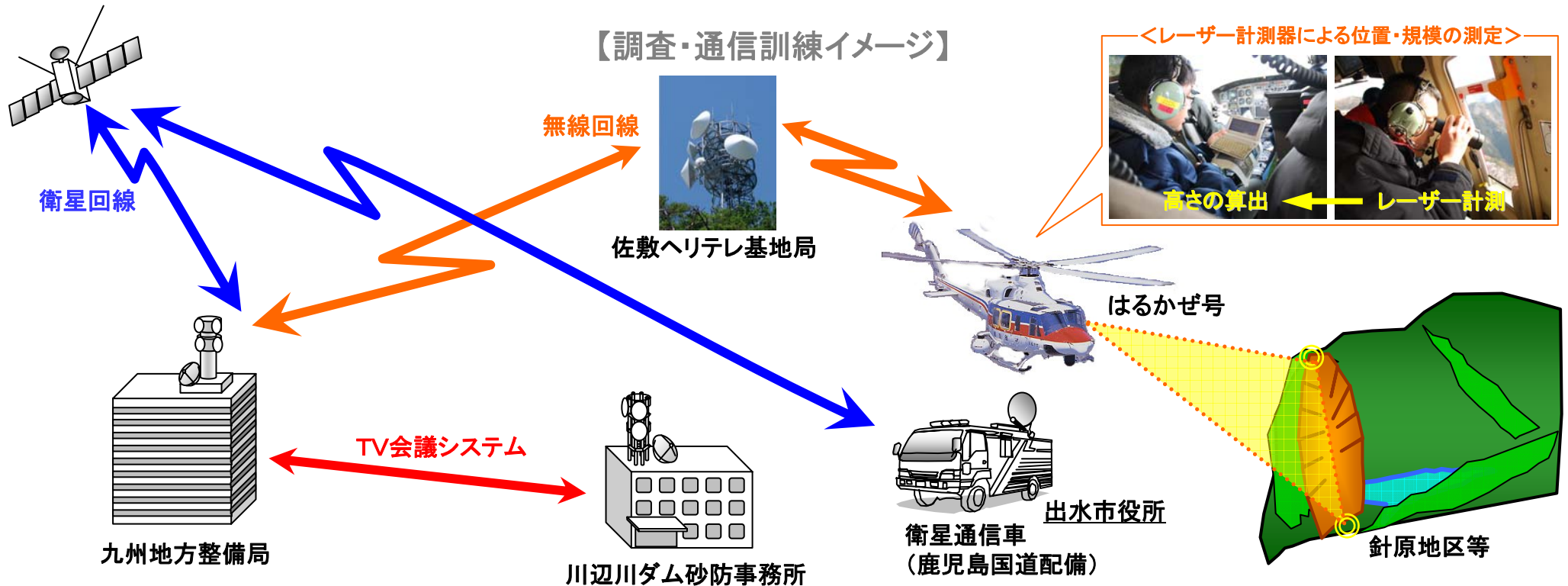
2. 場所・時刻 肥薩山系(鹿児島県出水市～熊本県水俣市)(別紙ルート2)・(第2フライト)12:50～14:20

3. 参加機関 九州地方整備局本局、川辺川ダム砂防事務所、鹿児島国道事務所、鹿児島県出水市

4. 訓練内容

「はるかぜ」に川辺川事務所職員が搭乗し、上空から山岳部の地形状況や現状の崩壊状況の把握を行うとともに、平成9年に大規模な土砂災害が発生した針原地区でGPSやレーザー計測器等を活用した被災箇所の規模確認(土砂災害防止法に基づく緊急調査)の訓練を行う。

出水市役所に衛星通信車(鹿児島国道事務所)を設置し、衛星回線を使い映像を確認しながら、「はるかぜ」と交信し直接撮影等の指示をする訓練を行う。



ヘリコプター「はるかぜ」の肥薩山系飛行ルート及び出水市付近上空通過予定時刻

第2フライト (離陸)12:50 (着陸)14:20

一武防災ヘリポート

宝川内地区

13:35

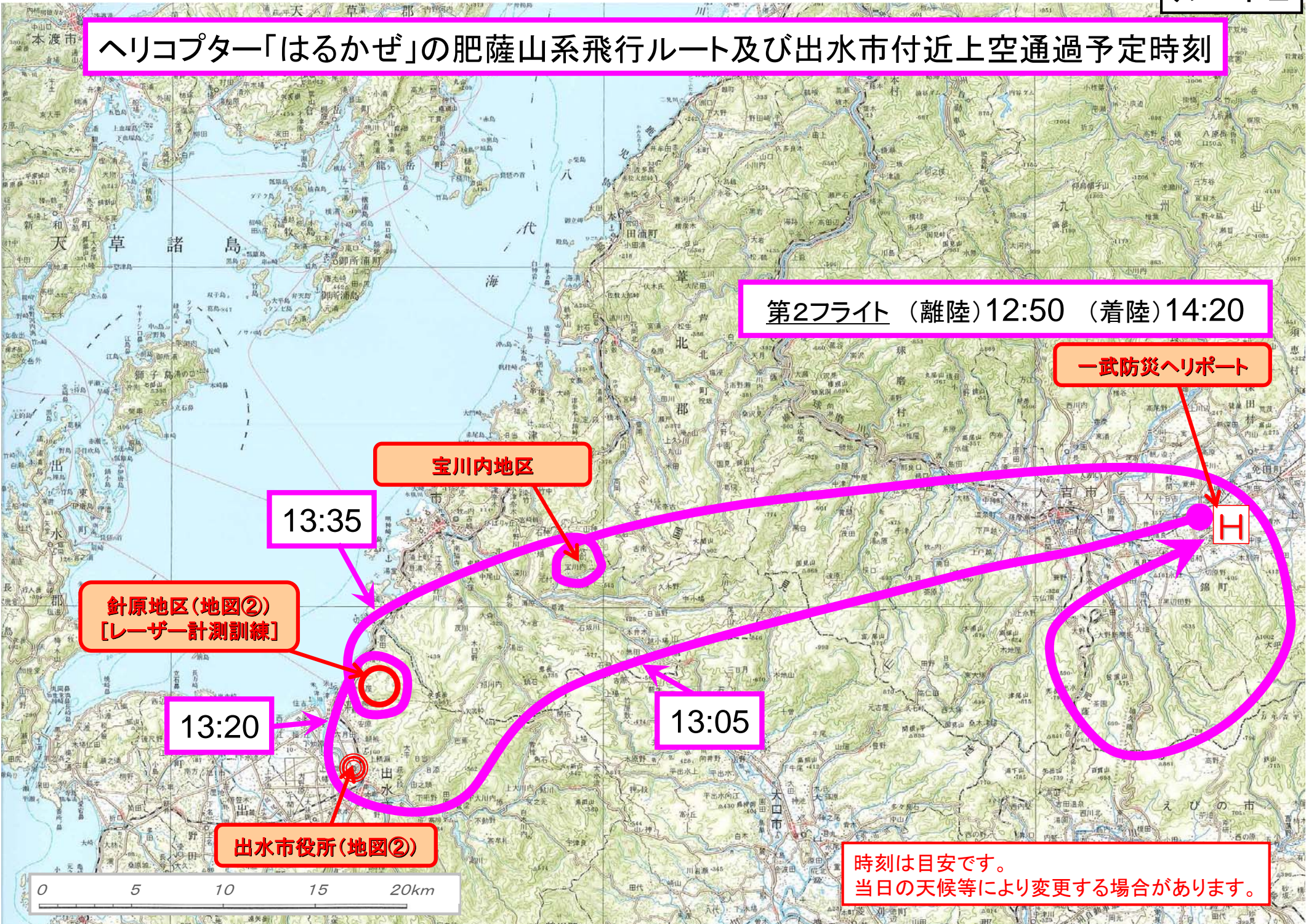
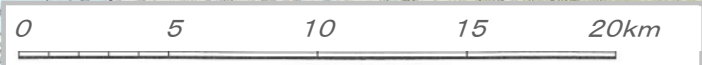
針原地区(地図②)
[レーザー計測訓練]

13:20

出水市役所(地図②)

13:05

時刻は目安です。
当日の天候等により変更する場合があります。



今回使用する災害対策用機械

○ヘリコプター「はるかぜ」（九州地方整備局 所属）



大規模災害時には、被災状況を正確かつ迅速に把握し、応急対策等の対処方針の決定を速やかに行うことが求められており、ヘリコプターを活用した上空からの情報収集・映像伝達が非常に有効な手段となります。

「はるかぜ」は平成8年4月に九州地方整備局に配備され、搭載しているテレビカメラ、GPS、画像伝送装置などの各種機材を活用して、災害現場の情報をリアルタイムで九州地方整備局本局・事務所や関係機関に伝達することが可能です。

今回は、川辺川ダム砂防事務所が運用し、テレビカメラによる現場映像の撮影・伝送、GPSによる地上位置（緯度・経度）の確認、職員によるレーザー計測器を用いた上空からの現場状況把握（崩壊地の規模測定）などの訓練を行います。

○衛星通信車（鹿児島国道事務所 所属）



大規模な災害で通信手段が絶たれてしまうと、被害を最小限に食い止めたり、速やかな復旧活動に支障を来します。

そこで、悪条件下でも信頼性の高い衛星通信システムを利用して災害現場と九州地方整備局等を結び、スピーディーで的確な対応をサポートします。

今回は、この衛星通信車を出水市役所に設置し、ヘリコプター「はるかぜ」の撮影した映像を衛星回線を使い車内のモニターで確認しながら撮影箇所等を直接指示する、現場指揮拠点として活用する訓練を行います。